

学校名 [岡田小学校]	氏名 [柳 弘子]
[小] 学校 [1・2・3]	年版 単元名 [ぼうさいリュックを用いしよう] P 36～37
教科・領域名 [生活単元] [時間 45分]	

主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
-------------------	-------

【ねらい】

・もしもに備えて、自分の家の防災リュックを準備することができる。

1 リュックについて考える。*実物を使って

【児童の反応】

<どんなときに使いますか?>

・遠足に持って行く。

<どんな物を入れますか?>

・お弁当 ・シート ・おやつ ・合羽 ・水

2 防災リュックの役割を考える。

【児童の反応】

<どんなときに必要になりますか?>

・台風が来て、どこにも行けなくなったとき。

・避難するとき

<どんな物を入れたらいいですか?>

・水 ・食べ物 ・ラジオ ・懐中電灯

<こんな物もあったらいいと思う物がありますか?>

・お金 ・手袋 ・着がえ

*缶詰のパンやようかん、ビスケットなどの保存食を見せる。

【準備しておくといいことを考える。】

・必要な物が一つにまとまっている。

・持ち運びしやすい。



○家族ひとりひとりにあるといい!

3 わが家の防災リュックについて考える。

*「わが家の防災リュック」を家族で話し合ってみよう。

・前任校での避難所の様子や、食料や生活用品を買うためにたくさんの人が並んだ様子を教師が話す。

・子どもが経験して大変だったことを考え、更に必要な物がないかを考える。

・各家庭で必要な物が違うことにも気付かせ、「わが家の防災リュック」を準備することを意識づける。

【準備物】

・リュック (お弁当・シート・合羽・おやつ)

・リュック (絵) ・副読本



【児童の感想】

・いざというときには大切な物だと思ふ。

・大変なときは、自分のことは自分でしないといけない。

・乾パンしか知らなかったけど、保存食にもいろいろな物があることがわかった。

(別紙)

「新防災教育副読本を活用した指導事例」様式（提出用）